

斐太北小 ESDだより

Education for Sustainable Development(持続可能な社会の創り手を育む教育)

いじめ見逃しゼロスクール集会 「自分らしく生きる」と「一歩上の自分へ」

昨年のいじめ見逃しゼロスクール集会は、体験型の学びを企画し、なかよし班遊びで遊びながら、ふわふわ言葉を意識したり、ちくちく言葉やちくちく行動が出そうな場面ですどうするか、自分で考えて実践したりしてみる集会でした。今年は、「ふわふわ言葉で心をつなぎ、みんなが笑顔になれる温かい学校にしようとする気持ちを高めることをねらいとして、6月16日(火)外部講師をお招きして講演会型の学びを企画しました。



まず、いじめ見逃しゼロキャラバン隊の今井 美穂さん(タレント・司会やキャリアコンサルタントのお仕事をされています)から「**自分を大切にす〜人生を変えるポジティブシンキングの秘訣**」というテーマでご講演いただきました。自分らしく生きることや、人との関わり方について考える時間となりました。その後、なかよし班ごとに「ふわふわの木」に「ふわふわ言葉の花」を考えて、みんなでカードに書いて貼るワークをしました。

「今日のお話の中で、どんな言葉が心に残りましたか?」と、集会の最後に子どもたちに聞いてみました。



ある4年生は、「ぼくも今井さんと同じにはいかないと思うけど、何かに挑戦してみたくなった。**自分の心のコップ**は満タンに近いんだと思いました。」と教えてくれました。

私は、今井さんのお話の中で、心に残った言葉があります。それは、「**自分の心のコップを満タンにすることにエネルギーを使う**」ということです。

人は、自分の心が満たされているとき、周りの人に優しくすることができません。しかし、心のコップが空っぽになると、イライラしたり、人を傷つける言葉を使ってしまったりすることがあります。

だからこそ、まずは自分自身を大切にすること。好きなことに夢中になること。頑張った自分を認めること。困ったときは誰かに相談すること。そんな一つ一つが、自分の心のコップを満たしていくことにつながります。



また、今井さんは「**夢をかなえる確率を上げる方法**」も教えてくださいました。

それは、**自分の気持ちや夢を周りの人に伝えること**です。

「恥ずかしいから言わない。」「どうせ無理だろう。」

そう思っているだけでは、周りの人は応援することができません。

ユーチューバーです



あなたの夢は何ですか?



しかし、勇気を出して言葉にすると、応援してくれる仲間が現れたり、協力してくれる人が増えていきます。そして、その経験が自信につながっていくのです。

これは、先日の体育大会延長戦プロジェクトにも通じます。高学年の子どもたちは、「やってみたい」という思いを仲間や先生、校長に伝えました。その結果、多くの人を巻き込み、新しい挑戦が実現しました。



さらに、今井さんのお話を聞きながら、本校の合言葉である「一歩上の自分へ」を思い浮かべました。

「どうせ無理。」「きっとこうに違いない。」

そんな思い込みを捨てて、新しいことに挑戦してみる。自分とは違う考えや感じ方を知ろうとする。困っている人に声をかけてみる。



その小さな一歩が、自分らしく生きることに、誰もが安心して過ごせる学校づくりにもつながっていきます。

ESDでは、多様な人々と共に生きる力や、自分と社会の未来をよりよく創る力を育てることを大切にしています。



今回の集会は、「いじめをしない」ということだけでなく、「自分を大切にすること」「相手を理解しようとする」「自分の思いを伝えること」の大切さを学ぶ機会となりました。

自分の心のコップを満たしながら、自分らしく。
そして、仲間とともに「一歩上の自分へ」。

そんな斐太北小学校でありたいと思います

